

<配布資料>

- 27-5-2 平成 27 年度第 4 回理事会議事録（案）
- 27-5-3 平成 27 年度第 5 回理事会入退会審査対象者
- 27-5-4 日本生体医工学会平成 27 年度論文賞・坂本賞候補論文選定調書
- 27-5-5-① 平成 28 年度臨床 ME 専門認定士認定者名簿（新規）
- 27-5-5-② 平成 28 年度臨床 ME 専門認定士更新者リスト
- 27-5-5-③ ME 技術実力検定試験における問題作成の流れとチェック体制について
- 27-5-5-④ 第 22 回第 1 種 ME 技術実力検定試験問題作成担当表
- 27-5-5-⑤ 第 38 回第 2 種 ME 試験問題作成担当者一覧
- 27-5-6 2016 年度サマースクール企画
- 27-5-7 公益法人化作業に関して
- 27-5-8 2016.3.11 理事会 編集関係 資料
- 27-5-9-① 専門別研究会 評価について
- 27-5-9-② 平成 28 年度日本生体医工学会専門別研究会の新設依頼書
- 27-5-10 平成 28 年度収支予算書案（資金収支ベース、管理費配賦前）
- 27-5-13 第 55 回日本生体医工学会大会について
- 27-5-14-① キャビテーションに関するシンポジウム（第 18 回）共催のお願い
- 27-5-14-② 他団体との協賛状況

<議事>

1. 総務 理事会成立の件
 - 成立要件を満たしていることを確認し、開会を宣言した。
 2. 審議 総務 前回議事録承認の件
 - 議事録を確認し、承認した。
 3. 審議・回覧 会員 入退会状況の件
 - 回覧資料および資料 27-5-3 の資料にて入退会状況を確認した。
 4. 報告・審議 選奨 平成 27 年度各賞応募結果と選定状況
 - 論文賞・坂本賞（中沢理事（増山理事の代理）から報告→承認）
 - 論文名：グリッドアクティブステレオを用いた三次元消化器内視鏡におけるキャリブレーション手法
 - 著者：青木広宙、古川亮、西谷維心、青山正人、日浦慎作、小南陽子、松尾泰治、吉田成人、田中信治、佐川立昌、川崎洋
 - 掲載号：生体医工学、52 巻、2 号、pp. 97-107
- 申し送り事項：論文賞の対象は、生体医工学の研究および研究速報、ABE の Original Paper と Research Letter であることを確認した。

- 新技術開発賞（佐久間理事長（石原理事の代理）から報告→承認）
 - 候補者：井上雅司
 - 開発技術名：腹腔鏡下手術用トレーニング器具「練習用持針器 EYP2009-CNK」シリーズ
 - 開発期間：平成 25 年 2 月－平成 25 年 9 月
企業勤務の方が選奨対象であるので、受賞者名は企業名と併せたものとすることを確認した。
- 荻野賞（松田理事から報告→承認）
 - 候補者：井上雄介（東北大学）
 - 研究課題「人工心臓と心臓をシームレスに接続する新しいハイブリッド医療材料の開発」

5. 報告・審議 ME 技術教育

- ① 平成 28 年度臨床 ME 専門認定士認定者名簿（新規）の内容を確認した。
- ② 平成 28 年度臨床 ME 専門認定士更新者リストの内容を確認した。
- ③ 第 1 種 ME 試験問題作成委員リストを確認した。リスト資料は回収した。
- ④ 第 2 種 ME 試験問題作成委員リストを確認した。リスト資料は回収した。
- ⑤ 試験問題作成とチェック体制、特に問題作成の流れと問題内容のチェック体制、合否判定などの方法とスケジュールを資料に基づき確認した。また、問題および採点の間違いをなくすための対策についての説明がなされた。

6. 報告・審議 教育 2016 年度サマースクール企画について

大須賀理事（野村が代理で説明）から **Healthcare Hackthon (HH)** と合同で生体医工学のハッカソンを実施する案が提出された。予算案は企業スポンサがつけば理想プラン（資料参照）で進めていただいていた構わないこととなった。ハッカソンの活動を今後継続的に続けることではないものとする（2016 年度はハッカソンでいくが、17 年度以降は、基本的には別のテーマで）。17 年度以降の在り方については、実務的運営も含めて若手で検討をする。

7. 報告・審議 定款改定 WG 公益法人化の作業に関して

（阿部理事から報告）

- ・支部問題（支部長の推薦と承認、支部の通則、支部の経理）→本部・理事会管理下に。
- ・支部長の理事会参加は、理事会要請に基づくオブザーバー（「議決権無し」）を明記）
- ・21 条-2： 副理事長→各会務を担当する理事（会務ごとに一人）に変更
- ・担当理事は毎回出席（電話出席も可能とする）
- ・期間損益計算：支部の会計年度（2 月から 1 月）を本部と合わせなければならなくなるだろう。
- ・生体医工学科連絡委員会→生体医工学活性化委員会（すでに名称変更はされている）

特定の大学の学科の活性化でないことは明らか。具体的な就職先確保といった内容ではもともとない。分野全体の若手・学生の活動の場を活性するための活動をサポートしていることを確認した。

- ・みなし決議（持ち回り理事会は認められない）。みなし決議には議事録が必要。
- ・平成24年度第3回理事会で、理事会は委任状による出席ができるかのような記述があるが（議事録16-b）、この記述は間違いであることを確認した。
- ・定款の再修正案（軽微な修正）を総会報告することを承認した。
- ・定款40条の2（事業報告と決算承認は定時総会）：2016年度の年間スケジュール
4月9日（土）午後1時に公益化の諸問題に関する議論と役員（理事）改選に関して理事会を開催する。可能なら事業報告に関しても議論する。

8. 報告 編集 編集関係について

木村理事（編集）から、西川敦先生（信州大学）および安井武史（徳島大学）を新たに編集委員にすることが報告された。

9. 報告・審議 学術（吉田理事から報告）

① 専門別研究会評価について

全部で18の研究会がある。研究会の開催回数で評価。分類A：4回/年以上、分類B：1回/年以上。

評価：1）問題はなく規定通り予算配分、2）問題はあるが修正されれば予算配分可、3）問題ありで評価。3）問題ありは、対応がなされなければ予算配分なしとし、解散を命ずる。資料に記載された内容・金額で平成28年度予算を配分することが認められた。

② 新規専門別研究会について

資料に記載された新規専門別研究会の名称変更が認められた。

10. 審議 財務 平成28年度予算案について

次回に詳細を議論

11. 報告 第55回大会 準備状況報告

中島一樹先生（北陸支部幹事・中村大会長代理）から、55回大会（4月26日～28日）の準備状況として、登録演題数（514演題）で54回大会の演題数を上回る予定であること、特別講演（4件）、ランチョンセミナー（3件）、情報交換会の予定などが報告された。

12. 報告 第56回大会

山家理事（56回大会長）から、現状（特別講演の依頼状況）などの報告がなされた。

13. 審議 第57回大会

14. その他

- ① 共催について、②協賛等の状況（資料回覧）